

概要報告書

2016 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会
事業名	DVシェルターの宿直者・職員向け安全研修と宿直者配置事業
<p>■宿直者配置</p> <p>当施設は行政からの補助金がなく限られた予算で運営しているため、夜間・休日の職員配置ができず、ボランティアの力を借りて、夜間や休日の見守り体制を築いています。宿直者は利用者が安心して眠りにつけるよう配慮するとともに、不審者がいた際の対応、外部からの不審な電話、体調不良の際の救急搬送、不安定になった利用者の話を傾聴、地震の時の安否確認等に対応し、当施設の運営に欠かせない存在となっています。</p> <p>助成金によって、宿直者を175回配置し、また社会福祉協議会ボランティア保険に加入することができました。</p> <p>■安全研修</p> <p>9月6日(金)「ボランティアのための危機回避研修」を行う事ができました。社会状況が悪化すると女性や子ども、高齢者など、社会的弱者への暴力が増えるといわれます。先日起きました相模原の障害者施設での事件から、人を預かっている施設として、いかに利用者を守らなければならないのか、不審者対応も決して一通りではなく様々な場面を想定しなければならないことなどを痛感させられました。</p> <p>DV 被害者が多く利用する当施設では、安全の確保は最優先事項になります。しかし、民間の施設であり、さらに専門の警備員を配置する事はできないため、宿直ボランティアへの研修を強化しました。</p> <p>今回、利用者を守るためには自分自身の安全と安心が大事であるという前提に立ち、護身術を教えている講師から危機回避の基本を学ぶと共に、人が本来持つ自己防衛の力を高める研修を行う事ができました。10名の宿直ボランティアの参加があり、昨年に続いて安全意識を持つ実践的研修を実施する事ができました。</p>	

注)上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。